

中北の地域社会 (COMmunity) の心の交流 (COMmunication) をめざします

## 南アルプス市教育委員会 ジュニアリーダー研修

### リーダーを目指して一歩ずつ成果を！

南アルプス市では、小学6年生と中学1、2年生を対象に、ジュニアリーダー研修を開催しています。

従来、ジュニアリーダー研修として、県立八ヶ岳少年自然の家において年に一度1泊2日の日程で研修を行ってきました。異年齢の、学校も違った児童・生徒を募集し、班編成して、ハイキ



宿泊研修において小学生の指導を行うことを目標に、中学生のリーダー育成に取り組んできました。昨年度15名だった中学生は今年度30名となり、月に一回顔を合わせることで親しくなり話やすくなり、遊びを通して同じ目標に向かって取り組んでいます。

8月12日～13日に行われた宿泊研修では、中学生たちは立派に役割を果たしてくれました。集団の先頭に立つことの難しさや面白さを発見したという感想を聞かせてくれました。小学生は中学生が良いお手本となったようで、来年度には自分たちがリーダーになるんだという意気込みが感じられました。



ング・冒険ハイク・クラフト工作等を体験していました。初めて会った仲間と、1泊2日だけの交流です。時間がないと感じられていました。南アルプス市の子どもたちのリーダーになるという目標・自覚というものを一人ひとりに持たせることは難しいことです。

昨年度からは小学6年に参加した児童に「中学生になってから月1回のリーダー研修に参加してみませんか」と募集をかけました。県レクリエーション協会の指導を受け、生徒たちに遊びを体験させることで仲間づくりを行ってきました。



## 「危険ドラッグ」は、「ダメ！ゼッタイ！」

全国各地で、「危険ドラッグ」によるものと思われる事件や事故が起きています。県内でも、6月には「危険ドラッグ」が原因と見られる交通事故があり、また、7月には「危険ドラッグ」使用に関わる少年報道もありました。身近でそういったことが起きると、改めて危険性を実感いたします。

山梨県警察本部・山梨県福祉保健部では、ホームページを通じて「危険ドラッグ」も含めて「薬物の乱用」防止を訴えています。中北地区内の各警察署・保健福祉事務所でも注意喚起を呼びかけていますが、青少年の健全育成のためには、一人ひとりの意識を高めることが大切です。この機会に改めて、「ダメ！ゼッタイ！」をみんなで訴えていきましょう。



- 以下、『山梨県警察』ホームページ  
「少年・女性安全対策課のお知らせ」より -

### 薬物の乱用とは...

医薬品を医療目的以外に使用すること、又は医療目的にない薬物を不正に使用することをいいます。精神に影響を及ぼす物質の中で、習慣性があり、乱用され、又は乱されるおそれのある薬物として、覚せい剤、大麻、MDMA、コカイン、ヘロイン、向精神薬、シンナー等があり、これらの取り扱いが法令により禁止又は制限されています。

### Q危険ドラッグって何？

A:いわゆる「合法ドラッグ(脱法ドラッグ)」といっても、「法律で所持・使用が認められた薬物」という意味ではなく、その乱用者が犯罪を犯したり、重大な交通死亡事故を引き起こしたりする事案が後を絶たず、深刻な社会問題となりました。薬事法の指定薬物の包括指定の導入等によって、指定薬物数は大幅に増加し、規制の範囲が広がったことや、「合法ドラッグ(脱法ドラッグ)」と

### Q薬物乱用は犯罪？

A:薬物を所持・使用することは  
法律で厳しく禁止されている

1. 持っているだけでも
2. 一度使っただけでも
3. もらったり、買ったりしても
4. あげたり、売ったりしても

正しい知識をもって薬物を近づけない

いう呼称が、その違法性、危険性について、あたかも合法であるかのような誤解を与えることから、平成26年7月22日、「合法ドラッグ(脱法ドラッグ)」に代わる新たな呼称として、「危険ドラッグ」を使用することとしました。「危険ドラッグ」の多くが実際には違法薬物であり、これらの薬物は危険性の高い薬物です。

(山梨県警察ホームページより)



## だからコワイ「危険ドラッグ」

### 軽い気持ちで手を出してしまう

「危険ドラッグ」は、「ゲートウェイドラッグ(入門薬)」とも言われ、薬物乱用へつながるおそれがあります。大麻や覚醒剤などと違って、安く簡単に入手できることや、「合法ハーブ」「合法アロマ」「お香」「バスソルト」などと呼んで抵抗感をなくしていることなどから、興味本位に軽い気持ちで手を出す人が少なくありません。

### 自分の意志ではやめられなくなる

「危険ドラッグ」を使用すると、“依存性”と“耐性”の特徴が現れ、1回だけと思って使い始めた人も、その量や回数も増えていくので、自分の意志ではやめられなくなります。その結果、さらに乱用を繰り返すこととなります。

### 心も体もボロボロになる

報道でも言われているように、「危険ドラッグ」を吸引して意識障害や錯乱を起こし、重体になったり、死亡したりするケースも実際に起こっています。山梨県警ホームページにあるように、「危険ドラッグ」と呼ぶようになったのはつい最近のことです。改めて、その危険性が高まっていることが分かります。

## 指定薬物の「危険ドラッグ」を乱用すると 処罰されます

「危険ドラッグ」について、厚生労働省では新たな乱用薬物の根絶を図るため、指定薬物の輸入、製造、販売などに加え、所持、使用、購入、譲り受けについても禁止しています。違反した場合は、3年以下の懲役または300万円以下の罰金等の罰則を科すことを設けています。

しかし、何よりも薬物の乱用により、体と心を壊し、家族や友人を悲しませ、場合によっては自分自身の未来をも失ってしまうことが、最も重い処罰かもしれません。



## 地域みんなで、「ダメ！ゼッタイ！」

青少年を危険な薬物被害から守るのは、私たち大人の責任です。薬物乱用のこわさを知り、青少年が「危険ドラッグ」に手を染めることのないよう、家庭・学校・地域で、「ダメ！ゼッタイ！」を合い言葉にして、安心して安全な地域社会を作っていきましょう。

山梨県警察本部少年・女性安全対策課では、啓発活動の一環として、薬物乱用防止教室や薬物乱用防止広報車少年サポート号を利用しながらの防止活動を行っているとのこと。また、各保健福祉事務所、山梨県福祉保健部衛生薬務課でも、薬物乱用についての相談窓口を開設しています。ぜひ、ご活用下さい。

## 「煌めく青春 南関東総体2014」

無事閉幕いたしました

3週間にわたって、南関東(山梨、東京、千葉、神奈川)を舞台に熱戦が繰り広げられた全国高校総体(インターハイ)が閉幕しました。中北地区の高校でも、アーチェリー女子団体での甲府城西高校の2連覇、空手で日本航空高校の女子個人形と男子学校対抗での優勝などを始めとして、23種目で個人・団体が8位以上の好成績を収めました。全県でも、入賞以上の成績では昨年度を大幅に上回る大健闘でした。

中北地区内でも6市町17会場で、連日熱戦が繰り広げられました。

女子ホッケー会場となった白根中央公園では、巨摩高校が西京高校(山口県)と対戦しました。豊富な運動量を武器に何度も相手ゴール前でドリブル突破を図りましたが、得点につなげることはできませんでした。元々の部員以外からも友情助っ人メンバーを登録させ、ぎりぎりの人数で臨んだ巨摩高校でしたが、残念ながら初戦を突破することはできませんでした。しかし、試合終了後は保護者を中心とした地元大応援団から、健闘した選手達に対して惜しめない拍手が送られています。



韮崎中央公園では男子サッカーが行われ、山梨学院大付属高校と帝京第三高校が出場しました。1・2回戦を勝ち上がっていった両チームでしたが、3回戦で

は、優勝チームや昨年度選手権での準優勝チームの強豪校との対戦となりました。ベスト8の壁は厚く、惜敗しましたが、両チームとも健闘が光るゲームとなりました。

選手の皆さん、そして、運営協力に当たったすべての皆さん、本当にお疲れ様でした。



## 峡中地区・峡北地区 地域教育推進連絡協議会

### 地域教育フォーラムを開催します

期日：平成26年10月24日(金)  
14:00～16:30

会場：日本航空学園 J-shipホール

#### 日程

受付	13:30	～	14:00
アトラクション	13:45	～	13:55
開会行事	14:00	～	14:10
報告	14:15	～	14:40
	休憩	10分	
講演	14:50	～	16:20
閉会行事	16:20	～	16:30

報告 14:15～14:40

テーマ 「いじめ問題の克服に向けて」  
～「甲府市いじめ防止基本方針」を策定して～

#### 発表者

甲府市教育委員会指導主事 竜澤 規之 氏

講演 14:50～16:20

テーマ 「いじめのない地域社会の実現をめざして」

#### 講師

千葉大学教育学部教授 藤川 大祐 氏

平成26年度 『中北.com』 3

編集・発行 中北教育事務所 地域教育支援担当  
内藤 阿部 野崎

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4

電話 0551-23-3046

Fax 0551-23-3013

中北教育事務所のホームページでもご覧になれます。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/>